

外貨預金残高5,000億円到達のお知らせ

[外貨預金の重要事項](#)

ソニー銀行株式会社(代表取締役社長：住本 雄一郎／本社：東京都千代田区／以下 ソニー銀行)は、2020年12月17日(木) 時点で外貨預金残高が5,000億円に達しましたので、お知らせいたします。

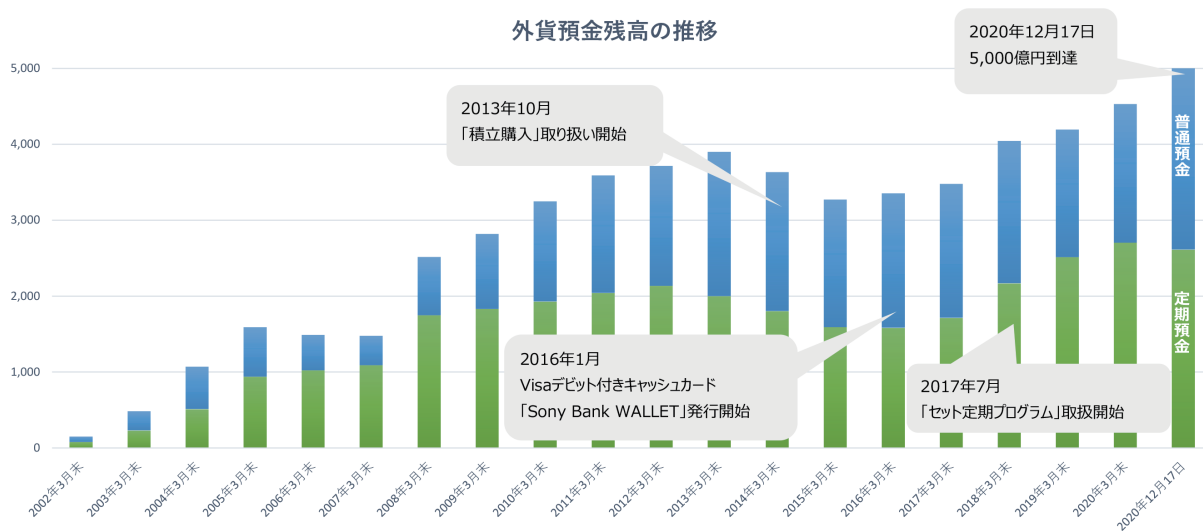
ソニー銀行は2001年の開業当初から市場レートと連動するリアルタイムレートを導入しているほか、「円」と同じように「外貨」を自由に使うことができる世界「外貨ワールド®」として外貨預金12通貨を取り扱っており、webで完結する外貨送金や外貨建ての投資信託を提供するなど、お客さまの利便性向上に努めてまいりました。

その中でも特に、2016年1月より取り扱いを開始した日本円や米ドル、ユーロなど11通貨対応のVisaデビット付きキャッシュカード「Sony Bank WALLET」は、貯めた外貨を“外貨のまま”世界で使えるという点が評価され、これまで約71万枚を発行(2020年9月末時点)しています。

こうした取り組みがお客さまのご支持を得て、このたび外貨預金残高が5,000億円に達しました。ひとえにお客さまのご愛顧の賜物であり、あらためて心より御礼申し上げます。今後もソニー銀行は「個人のための資産運用銀行」としてお客さまの多様なニーズにお応えし、資産形成・資産運用のための新たな選択肢を提供してまいります。

また、外貨預金残高5,000億円到達を記念したキャンペーンを実施する予定です。詳細が決まり次第、ご案内いたします。

※ ソニー銀行の外貨預金残高はすべて個人のお客さまのご利用分です。なお、日本の個人の預金残高は約6.8兆円(2020年10月末現在、日本銀行統計調査より)で、ソニー銀行は約7%のシェアを占めています。



2020年 オリコン顧客満足度調査「外貨預金」にてソニー銀行が総合1位を獲得

2020年6月1日(月)に株式会社oricon MEが発表した「2020年 オリコン顧客満足度調査 外貨預金」において、全国93金融機関の中で総合1位(※)を獲得しました。

また、「取引のしやすさ」や「利便性」、「取引手数料」などの評価項目と部門合わせて、20項目中14項目で1位と高い評価をいただきました。

(※)「外貨預金」は2020年より新設された調査です。



以上